

生成系AIの可能性と限界

一橋大学名誉教授
野口ぐち悠紀ゆき雄お

- *驚くべき進化
- *公的年金制度について質問
- *平気でうそをつく
- *翻訳やメール作成には有効
- *創造はできない
- *指示を実現する能力
- *AIにアイデアは産めない
- *悪貨の駆逐に期待
- *AIの判断基準は情報量
- *日進月歩するAI技術



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、一橋大学名誉教授の野口先生においでいただきました。もう何年か毎年のようにお呼びしておりますので、改めてご紹介の必要もないかもしれませんが、大学は理科の出身でございまして、その後、大蔵省に入省され、アメリカに留学され、そして退官後、学問のほうに入っておられます。

いつも日本経済の話とかいろんな話をしていただいておりますが、今日はタイトルにありますようにAIの未来と限界、そして日本がその中でどういう位置にあるかといったようなことをずばりお話しいただけると幸いです。それでは野口先生、よろしく願いいたします。

驚くべき進化

野口 皆さんこんにちは。野口悠紀雄です。（拍手）

本日は、経済倶楽部におきましてお話しできる機会をいただきましたことをたいへんうれしく思っております。主催者の皆様方に御礼申し上げます。これから1時間ほど「生成系AIの可能性と限界」というテーマについてお話をいたします。その後、20分間ほど皆様のご質問にお答えしたいと思います。

先ほど理事長から、去年は日本経済の話だけでしたが、今日は全然別の話というご紹介がありました。まさに日本経済どころではない大変化が起きています。私もこの2カ月間ほど、